

世帯と人口
 (平成8年7月1日)
 世帯 40,568 (+94)
 人口 114,823人 (+100)
 男 58,966人 女 55,857人
 ※平成7年国勢調査の集計結果により、数値が変動することがあります。

広報えびな

編集・発行
 海老名市役所秘書広報課
 〒243-04
 神奈川県海老名市勝瀬175
 ☎ (0462) 31・2111

この広報は再生紙を使用しています。



ココロのうた、届けます

素晴らしき詩人の存在

自閉症に悩む青年が作った詩にメロディーをつけ、歌を披露する「ココロのうた」コンサートが、6月末に横須賀市のさいか屋ホールで行われました。ステージに立っていたのは、ソプラノ歌手の甘利真美さん(国分寺台在住)。甘利さんは、コンサートの収益金の一部を自閉症児・者の施設の建設基金にしようとして、ボランティアコンサートを続けています。

甘利さんが本格的に歌を始めたのは大学生のときで、それまでピアノを習っていたのですが、先生の「歌ってみては?」の勧めがきっかけで始めたそうです。そして卒業後は、大学で学習したことを生かし、6年間柏ヶ谷中学校で音楽の先生をしていました。

現在のコンサートなどで、ピアノ伴奏をしているのは、甘利さんが、柏ヶ谷中学校に赴任して1年目の教え子だった斉藤伊都子さん(柏ヶ谷在住)。斉藤さんとは5年ほど前に、2人とも音楽教室で先生をしているときに、偶然再会して以来意気投合。「伴奏者は技術も大事ですが、歌い手との呼吸が合うかどうか大切です。斉藤さんは技術もさることながら、呼吸がピッタリなんです」と甘利さん。

海老名から新しい文化を

この詩に出会ったのは、去年秋に厚木市で開催された自閉症児・者作品展。そこには「お母さん」という詩が展示されており、「どなたか、この詩に曲をつけてくれませんか」の問いかけがありました。「夢をかなえてあげたい」と曲をつけた甘利さん。「彼の詩からは、自然と曲が浮かんでくるんです」と、他の詩にも次々と曲をつけ



短期間で20曲以上を仕上げました。「今は、自分で作って、自分で歌えることがなによりも幸せです。私にとって作品の一つひとつは、自分の子供みたいなもの、その作品から新しい文化が生まれればいいなと思います。海老名から新しい文化を作っていきたくてですね」とこれらの夢を話してくれました。

「ココロのうた」コンサートは今年の12月1日に、市文化会館小ホールでも開催される予定です。そこでも、ピアノ伴奏に合わせ高らかに歌う甘利さんの姿が見られることでしょう。

ひとりで悩まずま

気軽に...

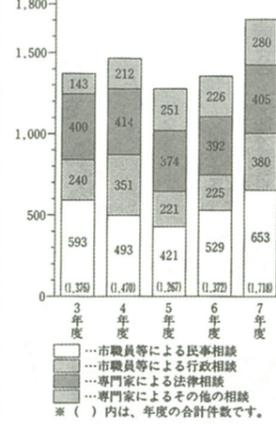
みなさんは、毎日の生活の中で、ちょっと分からないことや聞いてみたいことはありませんか。悩み事は、一人で悩まず身近な人に相談していただくことが、いち早く解決するための良策といえます。しかし、内容によっては専門家でないと判断できないという問題も、意外と多いものです。こんなときのために、市では「市民相談室」を開設して、みなさんの相談に応じています。専門家に相談することによって、解決のいとぐちにつながることもあります。どうぞ、お気軽にご利用ください。

問題解決のいとぐちに 平成7年度の相談は1,718件

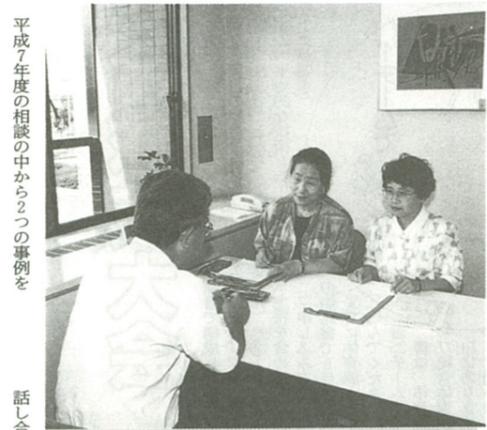
相談は秘密厳守

現在、市で行っている相談は、下の表のとおりです。これらの各種相談をそれぞれ専門の相談員が、親身になってみなさんの相談に応じています。相談にいられた方のプライバシーは完全に守られます。相談室へおいでください。料金は無料です。各種相談の会場は、市役所2階の市民相談室です。相談の内

年度別相談件数



容や日程については、毎月15日号発行の広報えびなに掲載していますので、ご確認ください。平成7年度の市民相談室への相談件数は、総取扱件数が718件(6年度は千羽子で、相談者の内訳は男性371人、女性千羽子人で、去年同様に女性の相談が男性を大きく上回っています。相談方法は、市役所への来庁による方法(7年度は総件数の約7割)と、電話による方法(2割)とがあります。主に市職員が対応している電話による方法(7年度は総件数の約7割)と、電話による方法(2割)とがあります。主に市職員が対応している電話による方法(7年度は総件数の約7割)と、電話による方法(2割)とがあります。



相談員からのアドバイス
具体的な資料を用意して
「少なくとも、相談に来たときより相談が終わったときの方が、明るい表情で帰っていただけるように努めています」と話すのは、毎月第2金曜日に行っている「人権相談」の相談員の方です。相談を受ける方には、「相談の内容に応じて、例えば相続関係であれば、遺言状や戸籍謄本などの具体的な資料や事実関係が分かるような資料を用意してほしいですね」と話していました。



こんな事で困っています

理想であると思われます。
▽件名 「カード等の支払いについて」
▽相談者 30歳代男性
▽相談内容 クレジット会社から突然催告の通知が来たので、問い合わせたところ、妻が相談者を家族会員とするクレジットカード契約を締結し、妻がカード使用の代金を支払うなかため、クレジット会社は妻と連携して代金を支払うべき家族会員である相談者妻に対して、支払命令を申し立てました。その支払命令は、期間内に異議申し立てをしなかったため、すでに確定していることがわかりました。
▽解答要旨 同居の家族は原則として、裁判所からの送達書類について代理権を有するとの見解です。妻が相談者に代わって支払命令を受けた以上、送達は有効です。しかし、相談者が送達の実態を知らなかったのは、妻がこの事実を恐れ、相談者に対し裁判所からの送達書類を渡さず、かつ、送達の実態を隠していたためであるので、相談者には、異議申し立て期間を遵守できなかったことについて責められる事由がないため、異議申し立ては認められると思います。すくなくとも、異議申し立ての手続きを進めることです。

ご利用ください市や県の施設

市民相談室以外でも、市や県では、いろいろな相談を受け付けていますので、ご利用ください。料金は無料です。
▽青少年相談 青少年相談所(市中央公民館内) 32・101
▽未就学の幼児から20歳未満の青少年に関する相談や、しつけから非行まで、お子さんについての悩みや心配事などの相談。平日の午前9時から午後4時30分まで。
▽教育相談 教育センター(市中央公民館内) 34・870
▽お子さんの登校拒否や学校生活、家庭教育などについての相談。平日の午前9時から午後4時。
▽適応指導教室 教育センター(市中央公民館内) 34・870
▽学校に登校できない小中学生のための教室です。最終的には、学校に復帰できるようにすることを目指しています。

相談名	相談の内容	曜日・時間	相談員
一般相談	市民生活全般の相談や市政に関する要望及び以下の相談以外の相談	土・曜日・祝日を除く平日 午前8時30分～午後5時	市担当職員
法律相談	相続や家庭内問題、土地建物の賃貸借・売買契約のトラブルなど、法的な問題の相談(電話予約が必要です)	毎週水曜日 午前10時～午後4時	弁護士(横浜弁護士会会員)
消費生活相談	消費生活全般にわたるサービス・商品購入のトラブルなどの相談	毎週月曜日 午前10時～午後4時	消費生活コンサルタント
登記相談	相続や登記についての相談(電話予約が必要です)	毎月第2木曜日 午後1時～4時	司法書士(横浜司法書士会厚木支部会員)
人権相談	近隣問題や相続、戸籍などの相談	毎月第2金曜日 午後1時～4時	人権擁護委員 法務局職員
年金相談	国民年金や厚生年金などに関する年金についての相談	毎月第1・3火曜日 午前10時～午後3時	県年金相談員 社会保険事務所職員
婦人相談	婦人のいろいろな悩みについての相談	毎月第1木曜日 午前10時～午後3時	神奈川県婦人相談員

相談名	相談の内容	曜日・時間	相談員
行政相談	国の機関の仕事やJR、日本たばこ産業、公庫、公団、事業団といった特殊法人の仕事及び、郵便局に関する要望や苦情などの相談	毎月第4金曜日 午後1時～4時	行政相談員
建築相談	一般の建築物・木造の耐震相談及び建築全般に関する相談	毎月第3金曜日 午前9時30分～正午	建築士事務所協会会員
住宅相談	住宅の増改築などに関する相談	毎月第1金曜日 午前9時～正午	市建築職組合員
不動産相談	不動産取引や契約などの不動産に関する相談	毎月第2火曜日 午後1時～4時	宅地建物取引業協会会員
税務相談	所得税、相続税、贈与税などの税金に関する相談(電話予約が必要です)	毎月第3木曜日 午後1時～4時	税理士(東京地方税理士会大和支部会員)
開発行為相談	建物の開発行為や中高層建築物などの建築計画によって、生じるとされる日照障害や騒音、振動などの生活環境上の障害についての相談	毎月第1・3水曜日 午後1時～4時30分(電話予約が必要です)	開発行為等相談員(民事調停委員)

人権相談(人権擁護委員)			
名前	住所	電話番号	
佐々木寿代	国分北2-3-36	31-0455	
中島 優	本郷550-1	38-2481	
福島 達夫	東柏ヶ谷1-19-11	31-4938	
磯井 紀良	上郷51	31-0949	
米山トシ子	社家1120-1	31-8422	
近藤 淑子	中野395	38-3947	
嶋志田英江	大谷3353-3	32-4694	

行政相談(行政相談委員)			
名前	住所	電話番号	
萩原 松三	柏ヶ谷711-3	34-2255	
香川 寿雄	河原口799	32-5627	

海老名タイムトンネル 写真が語る郷土の歴史

付近は住宅の造成中

この写真は、昭和43年ごろの国分寺台3丁目付近の高台からは、大山や富士山を見渡すことができた。写真右側にバスが走っていた道路が見えますが、これは東名高速道路です。現在は東名高速道路も、騒音をさげる防音壁もありません。

このコーナーでは、市内に残る古い写真を紹介します。風景や風俗、人物などを撮った古い写真をお持ちの方は市史編さん室(内291)へご連絡を。

国分寺台3丁目
宅地開発された現在

プレイガイド

市制施行25周年記念 ベストオブクラシック

前川 清 オン・ステージ

日時 9月14日(土) 午後6時30分開演
入場料 A席 4500円・B席4000円(全席指定)
会場 市文化会館大ホール
主催 市・市文化会館事業協会

お問い合わせ 32・3231

図書館から

夏の特別映画会

有馬図書館 有馬図書館 38・4646

夏の日 8月20日(火) ①1回目 午前10時～10時30分 ②2回目 午後3時～2時 ③3回目 午後2時30分～午後3時 対象 幼児以上(申込先着順) 上映作品 『インソップ物語』『モリとヘルメス』(12分) 『ミッキーのお化け退治』(9分) 申込方法は 8月6日(火)から電話(31・5152)または直接図書館で。受付時間は午前9時から午後4時50分までです。定員が一杯になった場合はキャンセル待ちとなります。会場 市図書館2階視聴覚室。

有馬図書館定例映画会

日時 8月10日(土) 午前10時30分～10時50分
有馬図書館視聴覚室 上映作品 『ドッキとわいお』(15分) 『お化け退治』(9分) 『お化け退治』(9分) 当日直接会場へ。次回は、9月14日(土)に上映予定です。

国際アンデルセン賞受賞者の作品を展示

有馬図書館では、創設から40年を迎えた国際アンデルセン賞に関する展示を行っています。今までに受賞した世界各国20人(日本人3人含む)の受賞者の紹介や、受賞者にまつわる絵本などを集めましたので、この機会にぜひご覧ください。会場 有馬図書館展示コーナー 1階展示期間 9月1日(日)まで。

フォトピックス

旬の味覚 トウモロコシ

7月7日、本郷地区で「トウモロコシのもぎとり」が行われた。約十人の親子連れなどにぎわい、大人の背丈以上もあるトウモロコシの畑の中に入り、次々と実を収穫していた。



泳ぎの基本を学ぶ

7月11日、運動公園屋内プールで「女性スイミングスクール」が行われ、30歳から60歳代までの女性38人が参加した。初心者には水に慣れることから、中級者は基本的な泳ぎ方の技術を学んでいた。



まんまる赤ちゃん

佐藤 拓馬くん 1歳



食欲おう盛、ズバリ「まんまる赤ちゃん」です。いたずらっ子で小さな怪物のようですが、寝ている時は天使に…。(門沢橋、佐藤泰隆・久美子さんの長男)

遠藤 里菜ちゃん 1歳



はじめまして、里菜です。人見知り、後追い、ただ今真っ最中!でも、お友達と遊ぶのは大好きな。(杉久保、遠藤剛・美幸さんの長女)

福園 彩夏ちゃん 1歳



あんよはまだですが、ハイハイはとても速くなりました。気に入った物を見つけたら猛スピードで取りに行きます。(東柏ヶ谷、福園兼一・美映さんの長女)

田口 勝貴くん 1歳1カ月



僕、お姉ちゃんのことが大好きなんだ。だから毎日いたずらをして、泣かせてしまうんだ。(杉久保、田口勝巳・郷美さんの長男)

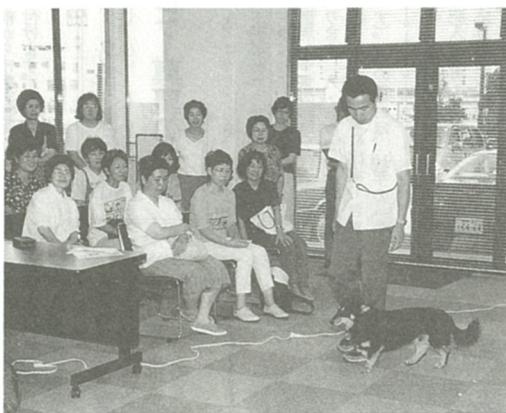
▼こみちが“淡紫色のジュウタン”に…



市役所を経て消防庁舎先の市道脇「水と花のこみち」では、ラベンダーが満開に咲いている。その香りと相まって美しい淡紫色のジュウタンが、新名所」に…。

▲犬のしつけ教室を開催

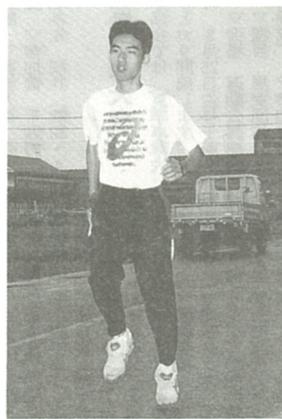
上手な犬のしつけ方を学ぶ。7月11日、保健相談センターで「犬のしつけ教室」が開催された。講演後、訓練犬による実演も行われ、基本的なしつけのコツを学んだ。



今月のプロフィール

3千円障害で全国大会に出場 飯島 智志さん

「インターハイでは、自分自身のためにも、もてる力を十分に發揮して決勝に残りたい。上位進出もねらっています」と話すのは、県立有馬高校3年生の飯島智志さん(中新田在住、17歳)。
飯島さんは、同校の陸上競技部に所属。3千円障害の選手として、県大会では大会新記録で優勝、南関東大会でも優勝し、今年8月に山梨県で行われる全国大会へ県代表選手として出場することになった。
陸上を本格的に始めたのは、高校に入学してから。1年生の9月頃から、顧問の先生の勧めもあって3千円障害をやるようになり、その後の新人戦で優勝するなど、すでに頭角をあらわしていた。
3千円障害は、400メートルトラック内に4つの障害物と外側に1つの水溝を設けて、障害物を28回と水溝7回を越えながら、3千円を走りタイムを競うもの。走りながら障害をやるようになり、その後の新人戦で優勝するなど、すでに頭角をあらわしていた。



「練習と自信」が原動力

障害物を越えるのは、体力の消耗も激しくなかなか厳しい競技のように思われる。
「たしかにきつい種目ですが、ひたすら走り抜くことしか考えていません。目標となる人に追いつき追い越せです」と。練習は毎日、放課後約2時間、走り込む。「毎日走ることが大切。一日でも休むと力が落ちるような気がする」と練習に余念がない。顧問の先生は「天性の素質か、障害物を越えるセンスがよい。マイペースで物おじしない性格なので、全国大会でどのようなレース運びをするか楽しみ」と期待も大きい。
「自分の得意としていることは、負けたくない。勝てるという気持ちを持って、落ち着いて大会に臨みたいです」と話す飯島さん。その冷静さと良い意味での負けん気を持って、好成績を取ってほしいと願う。

▼今年、雨が少なく水不足が心配と思っていたところ大雨。ダムの貯水率も80%を超えて給水制限も解除されました。▼今回の

編集後記

渾水で水の大切さを改めて認識しましたが、給水制限が解除されても、水が大切にする気持ちを忘れないでいたいですね。(裕)